

---

## らくらくさんぽ 52

2016. 12. 4

12<sup>キ</sup>ウオーク&忘年会

★★ (1.5) 参加者 30 人

---

今年最後の例会は倉吉から琴浦まで歩いた。な〜んて書くと味気ないから、奈良時代から飛鳥時代へ歩いたと言ひ換えようかな。

午前9時、倉吉市国府（こう）にある伯耆国分寺跡を出発した。今はなき寺院は、奈良時代に国府川左岸の丘の上に建てられた。その西側には伯耆の国を治めた伯耆国庁跡もあり、ともに国の史跡に指定されている。

ゴールは飛鳥時代の創建と伝えられる琴浦町の斎尾廃寺跡。倉吉・久米ヶ原台地から大栄、東伯の畑作地帯を抜けるルートは約 12km の道のりだ。

昔も今も中部は県内の農業先進地。僕が鳥取へUターンして勤め始めた当時、それまで県内の畑作農業をリードしてきた久米ヶ原台地は、盟主の座を大栄の黒ボク & 砂丘畑に明け渡してまもない時期だった。

小春日和。灌水設備が整ったほ場ではあちらこちらでトラクターが稼働し、本格的な冬が来る前に特産・プリンスメロンの定植準備が進められている。ぽつ、ぽつとある耕作放棄地には決まって、枯れたセイタカアワダチソウが繁茂していた。

いつもなら広域農道をビュンビュン駆っ飛んでいく車が、何事？と徐行しながら、僕たちの列をやり過ごして

いく。新興宗教 or 認知症施設の遠足とでも思っているのだろうか。ドライバーは、僕たちと目を合わせることなく無表情で通り過ぎた。

中間点は倉吉市今在家。小さなため池が点在する小さな集落の中を走る大きな県道を歩く。う〜ん、けっこうくたびれた。

県道から離れ、杉林の中の急坂を下って北栄町へ。由良川を渡ると茶ヤ条集落。その昔、八橋往来華やかかりし頃は茶屋があつて賑わつたと伝えられているが、今その面影はない。

集落の裏手の坂道を上って岩坪地内。さああと4キロほどだ。農道脇には紫色も鮮やかに『ムベ (写真)』の実が垂れ下がっていた。僕が子どもの頃、東伯下郷地区では『アケビ』と呼んでいたフルーツだ。

果皮が割れるいわゆるアケビのことは『アケッカ』と呼んでいた。ともにアケビ科なので同じような味だが、アケビ＝ムベの方が圧倒的に個体数は少なく、アケッカより遥かに貴重な存在だった。



甘味不足だった当時は、道端に果実が下がっていようものなら、アケビだろうがアケッカだろうが、大人も子ども

もも放っては置かなかった。でも今はムベが「私を食べてえ」と、なまめかしい紫色の体をくねくねさせていても見向きもされない。

岩坪の二度のアップダウンを越して一気に視界が開けた。左手には中国山地の山々。南方面の蒜山三座から西に目を移すと、烏ヶ山、矢筈ヶ山、甲ヶ山、勝田ヶ山と連なっている。矢筈と甲の間には雪化粧した大山の頂。さすが中国地方の最高峰だ。

琴浦の風車がどんどん近づき、その大きさに圧倒されそうになる。地面からペラの先までの高さは100m。役場の感性では観光資源らしいが、せっかくの素晴らしい景観を壊していると思えないのは僕だけだろうか。

歩き始めて2時間半。ブローラー鶏舎から出る湿気た鶏糞の臭いが強まり、ようやくゴール地点が見えた。

斎尾廃寺跡は国の特別史跡に指定されている。“特別”が付くと、単なる史跡より格上らしく、宮島・巖島神社、岡山・旧閑谷学校など中国地方でも4か所しかない。なんでも軒丸瓦が奈良の紀寺、軒平瓦は法隆寺のそれと文様が共通で、遺構の残存状況が良好だから“特別”になっているとか。

いつもの集合写真を撮り、いつもの白鳳館でいつも通りにワイワイガヤガヤ飲んだり食べたりした後は、いつもとは違う演芸タイム。徳万の女性チームが特別出演し銭太鼓を披露して下さった。ありがとうございます。

今年の例会皆勤賞は宮川昌隆・千加子夫妻と竹田貞子さん、桑本幸子さん

の4人。「あんたはエライ」と記念品を贈り、全員が参加して『輪投げゲーム』。山歩会らしい健全さでこの1年の垢を落とした。

賀戸さんの洪声アカペラは、もはや宴会には欠かせない。山内順子フラダンサーズの踊り（写真）も賑やかな会に彩を添えた。



歩き終えて、廃寺説明板の前でボーっと山を眺めていたとき、隣に座っていた伊縫さんが「この辺に住んでいる人はえ～なあ。こんないい景色を毎日見られて」と呟いた。

僕にとっては、生まれてからずっと見てきた何の変哲もない景色だけど、言われてみればその通り。その価値を再認識した。

角度は少し違っても、倉吉・国分寺跡と斎尾廃寺跡から見える山々は同じだ。風車と電柱・電線がなければ、山を望む景色は飛鳥・奈良当時とさほど変わらないだろう。

遥かなる時代、寺院は確実に人々の魂の拠り所だった。もしかしたら、多くの人の心を惹きつけられる場所に建っていることが、当時の寺院の条件だったのかもしれないなあ……。

（第二の人生）